

# 佐賀大生が現場体感

オリエンタル  
白石JVが施工

## 高尾川到達立坑

福岡県那珂郡  
整備事務所

福岡県那珂郡土整備事務所  
が高尾川床上浸水対策特別緊  
急事業の一環として建設を進  
めている高尾川到達立坑築造  
工事の現場見学会が5月30



掘削した土砂を排出

日、筑紫野市二日市の現地で  
行われた写真。

参加したのは佐賀大理工学  
部都市工学科の1年生100  
人。施工を担当するオリエン  
タル白石・陽光建設JVの協  
力で実施し、オリエンタル白  
石の福岡工場も見学した。学  
生は社会資本整備の意義やニ  
ューマチックケーソン工法の  
利点などを学んだ。

佐賀大大学院工学系研究科  
都市工学専攻の宮原真美子准  
教授ら11人が引率し、2グル  
ープに分かれて交互に見学し  
た。高尾川流域は、2014



年8月22日の豪雨で92戸の床  
上・床下浸水が発生し、15年  
4月におおむね5年間の床上  
浸水対策特別緊急事業に採択  
された。高尾川の川底から約  
10層下に約1キにわたって地  
下河川を整備するもので、オ  
リエントタル白石JVは地下河  
川の水を河川に排出する流出  
施設を建設している。

高尾川ケーソン工事作業所  
では、那珂郡土整備事務所災  
害事業室の田浦康司技術主査  
と土井拓郎技術主査が高尾川  
床上浸水対策特別緊急事業の  
概要を説明した。引き続き、  
赤嶺宏和現場代理人が工事概  
要を説明した後、排土や送気、  
再庄、受電などの設備を見て  
回った。

ケーソンは直径11・5層、  
深さ25・1層となる。工事は  
鉄筋・型枠を組んでコンクリ  
ートを打設した後、沈下掘削  
する作業を6回繰り返す。見  
学日は掘削の初日で、掘削し  
た排土をアースバケットに入  
れて土砂ホッパーに移してい  
た。現地は西鉄二日市駅に近  
い住宅地のため、騒音、振動  
対策に細心の注意を払って作

業を進めている。工期は19年  
1月15日まで。

同行した北島勝監理技術者  
は、ニューマチックケーソン  
の利点について、「掘削など  
の作業が人の目で見られるこ  
とだ」と話した。固い岩盤の  
対応についての質問には、  
「天井走行式掘削機の掘削バ  
ケットの替わりにブレイカー  
を装着したり、発破で岩を砕  
く」と答えた。女性技術者を  
目指すという学生は「丁寧に  
説明していただき、分かりや  
すかった」と感想を話した。  
福岡県大刀洗町の福岡工場  
では、PCとRC、プレテン  
ション方式とポストテンショ  
ン方式の違いなどを説明した  
後、プレテンションの製作工  
程を見学した。

